

# 川崎市立小学校図画工作科研究会

令和元年度

## 図画工作科 夏季実技研修会

実施日：7月26日(金) 参加人数：146名

会場：川崎市立新城小学校・岡本太郎美術館

各コーナーでは造形活動の基礎・基本となる、材料と用具・技法を体験する時間を大切にしながら、研究会テーマである「つくりだす喜び 感じる楽しさ」を受講者の先生方に実感してもらえるよう内容を工夫しました。また、岡本太郎美術館では、子ども達が作品鑑賞を通して自分の見方や感じ方を広げる鑑賞活動について研修しました。受講した皆さんと一緒に“つくりだす喜び”を共有でき、大変有意義な研修会となりました。



### やってみよう お手軽 造形遊び 【造形遊び】

準備や後片付けで敬遠されがちな造形遊びですが、活動が広がる楽しさを体全体で実感できる領域です。「並べる、つなぐ、積む、重ねる」などの行為を通して活動が広がっていきます。今回は、紙コップと洗濯ばさみを用いておこなわれました。



#### 『参加者の声』造形遊び

先生の声かけで、自分の活動に自信を持つことができました。子ども達の気持ちに寄り添った声かけをしていきたいです。

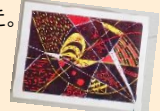
### 彫って彫ってまた彫って 彫り進み版画に挑戦 【絵に表す】

版木をサクサク彫るのがクセになる木版画。特に刷りの瞬間は版画の醍醐味です。彫り進み版画では、1つの版で線や色の重なりを味わうことができる表現方法です。白く残したいところを彫り、色を付けて刷っては彫るのを繰り返すと、色の重なりに深みが増します。



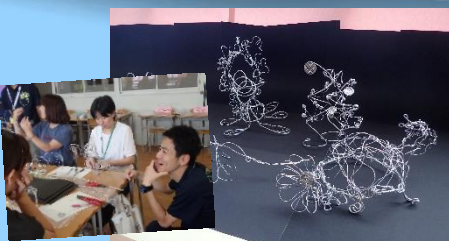
#### 『参加者の声』絵

刷り上がった時の「わあ！」という気持ちが楽しい。色が重なっていく感動を子ども達と共有したいと思いました。



### くねくねワイヤーアート 【立体に表す】

太さだけでなく、材質の違いで扱いやすさも変わる針金。安全指導にも着目しながら、ペンチを使って針金を曲げる、巻き付ける、ねじるなどしてその特徴をとらえる活動をしました。レントゲンに映った架空の生き物の姿をイメージして作品をつくりました。



#### 『参加者の声』立体

針金を使って新種の生き物をつくる活動では、針金の特徴を試す時間が生き、色々な線の動きを楽しみながらつくりました。

### 紙って、カミってる 【工作】

画用紙、折り紙、段ボール…。紙の種類をあげたら一体何種類あるのでしょうか。そんな多様性にあふれた紙。紙は切る、折る、破る、巻くなど手軽に形を変えられ、紙を線状に切って織ったり、のりで接着したりするとさらに表現の可能性が広がっていきます。



#### 『参加者の声』紙工作

まさに紙は神ってる！その通りでした。紙は工夫次第で発想が広がるすてきな材料です。たくさんの種類の紙に触れる経験を子ども達にもさせたいと思います。

### 太郎を超えよう 【鑑賞】

館内に展示してある作品やアートカードを使いながら太郎さんの作品に親しみました。ダイナミックな作品に印象的な様々な“顔”。色や形を工夫して、太郎さんを超える顔を絵に表しました。太郎さんになりきって表現する楽しさも鑑賞を通して味わうことができました。



#### 『参加者の声』鑑賞

子どもはもともと“能動的に感動する力”を持っているというお話が印象的でした。楽しみながら自然と考え、感じ、作品とじっくり向き合うことができました。